

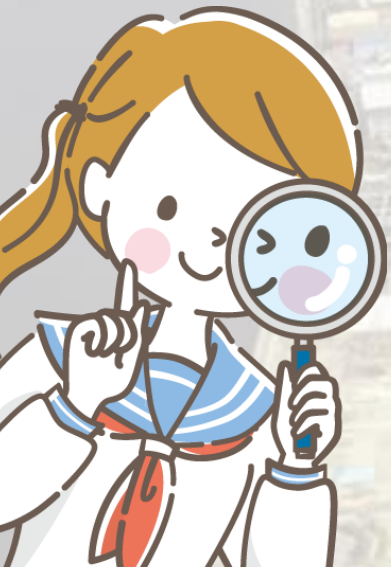


あまがさき **探** **究** プログラム

尼崎の産業を通じて日本の今と未来を知る旅



あま
探



はじめに ー尼崎へお越しのみなさまへー

尼崎は工業都市として発展してきたまちです。

産業の中心地大阪から近いこと、広大な土地が沿岸部と川沿いにあったこと、それにより水運が使えたことなどから、明治期以降多くの企業が尼崎に工場を設置しました。特に、大正期には化学工業や製鉄・鉄工業、繊維業、機械工業など当時の基幹産業を担う工場が数多く操業を開始し、工業都市尼崎の基盤が作られました。その後、戦時下の停滞期を経て戦後高度成長期には、尼崎は阪神工業地帯の中核地として日本の成長に大きく貢献しました。日本の近代化とその後の成長を支えた一大工業地帯が、ここ尼崎にあったのです。

現在の尼崎には、素材や部品など普段目にしないものを作っている工場が数多くあります。たとえば、海中などの過酷な環境で耐えうる鉄管や、医療現場などで止まってはいけない機械を守る機器、道路や橋などの巨大な建造物を支える素材など、普段は目に見えないけれど私たちの生活を支えている製品です。これらの製品の製造には高い技術力が必要であり、世界でも限られた企業でしか作ることができないものも多くあります。日本の成長を支えてきた尼崎の工場は、現在ではその技術力と品質で国内のみならず世界からも高く評価されているのです。



過酷な環境で耐えうる鉄管
(日本製鉄)



止まってはいけない機械を守る”ノンストップ電源”
(ニプロン)



巨大な建造物を支える素材
(神鋼鋼線工業)

はじめに ー尼崎へお越しのみなさまへー

こうして見てみると、明治以降の150年余りの間に尼崎の製造業がたどった道のりは、まさに日本の製造業のあゆみそのものであることがわかります。つまり、尼崎の教育旅行は、一地方都市の製造現場の見学にとどまらず、日本の製造業のあゆみや世界から見た現在の日本の位置づけ、さらには社会のしくみを現場で学ぶことができるものなのです。

尼崎の教育旅行プログラムで“日本のものづくり”や“社会のしくみ”を知り、未来のことを考える機会にしてみませんか。



大正初期の尼崎紡績。近世以降の古い家屋の中にレンガ造りの近代工場が出現した。



意気揚々と煙を上げる高度成長期の工場群。発展の陰で大気汚染など公害問題も起こる。



現在の尼崎臨海部
郊外を乗り越え、美しい海と空が広がる。

※いずれも画像は尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズ所蔵

このほか、尼崎の海を体験できるものやエネルギーについて考えることができるビルの見学、博物館の専門職のお仕事を知ることができるプログラムなど、多彩なものをご用意しています。ぜひご検討ください。



尼漁開発 武庫川渡船



AtomsWorld



尼崎市立歴史博物館

プログラムについて

— Why? から始める『探究型教育プログラム』 —



「あまがさき 探究 プログラム」



自ら問いを立て、社会や地域との関わりを通じて、
自分なりの答えを導き出す“探究型教育プログラム”



キャリア
探究

各企業の体験型プログラムや社会課題の解決策を考えるグループワークなどを通じて、自分なりの職業観を形成していく。

特定の地域の成り立ちや課題について学ぶことで得られる知識や気づきを、自分が住む地域の課題解決に生かし、将来に向けた行動へとつなげていく。

地域
探究

SDGs
探究

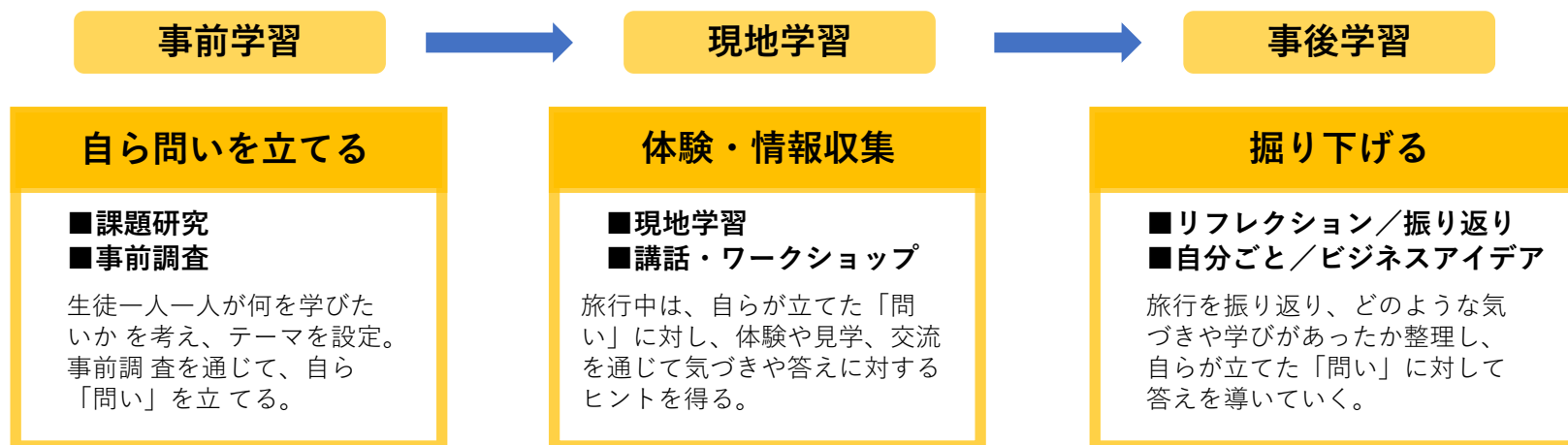
環境問題をはじめとした社会課題の解決に向け、各企業が事業を通じて実際に取り組んでいる内容を学び、SDGsを自分事として捉えられるようになる。



プログラムについて

探究プログラムの特徴

① 「旅マエ～旅ナカ～旅アト」でより深まる探究学習



グループワークや発表を通じてインプットだけでなくアウトプットを行う→実践的な学びへ

② 「キャリア探究」「地域探究」「SDGs探究」それぞれの観点から学ぶことができる

キャリア探究の観点

企業担当者より、企業の取り組みや、抱える課題をヒアリングし、解決に向けたアイデアや答えを導き出し、社会に出た際の考える力を身につける。

地域探究の観点

特定の地域の成り立ちや課題について学ぶことで得られる知識や気づきを、自分が住む地域の課題解決に生かし、将来に向けた行動へとつなげていく。

SDGs探究の観点

各企業が実際に行っている社会課題や環境問題を解決するSDGsの取り組みを学び、自分事として視野を広め、自分の生活に置き換えて実践する「答え」を出す。



プログラム一覧

1	AtomsWorld	電気設備工事の設計、ZEB	「エネルギー革命」で社会課題を解決 尼崎のオンリーワン企業	P.7
2	尼漁開発 武庫川渡船	渡船業(魚つり公園、運河クルーズ)	新鮮な魚をお裾分け 「フィッシュシェアリング」	P.9
3	音羽電機工業	雷対策専門メーカー	「雷対策」の全てを手がける会社	P.11
4	大阪ソーダ	苛性ソーダ等製造、化学メーカー	化学で笑顔を育む会社	P.13
5	革工房おおがき	革製品(カバン、財布等)製造	命と向き合い最後まで使い切る	P.15
6	岸本吉二商店	鏡開き・菰樽商品の製造・販売	江戸時代から続く菰樽の文化を今に伝える	P.17
7	クボタ	産業機械(農業機械、建設機械等)、 建築材料、鉄管、 産業用ディーゼルエンジン製造	米一粒、水一滴から社会・産業の基盤まで	P.19
8	神鋼鋼線工業	鋼線、ワイヤロープ、エンジニアリングの 製造および販売	「より強く」「より軽く」「より細く」「より高く」「より速く」	
9	ニプロン	『電源』の開発・製造・販売	グリーンパワーで直流の世界を拓く	P.23
10	日本スピンドル製造	産業機械の製造・販売・サービス	暮らしを支えて100年。「こんなところに日本スピンドル！」	P.25
11	日本製鉄	製鉄事業、エンジニアリング、化学、 新素材、システムソリューション	鉄は思ったより身近で地球にやさしい素材	P.27
12	ヒロセエンジニアリング	船舶用のタンクや排ガス出口管、 生コンクリートのプラント設備	「最高のものづくり」で社会に貢献する企業をめざします	P.29
13	丸一興業	輸送用梱包、ボルダ事業	迫力あるよ！木箱の梱包と物流の世界	P.31
14	ミヤコ工芸社	ディスプレイ総合企画・店舗内装、 設計・施工	「つくる喜び」「つかう楽しさ」持続可能な未来を実現	P.33
15	ヤンマーパワーテクノロジー	エンジンの開発・製造・販売・サービス	環境にやさしい動力で海上輸送を支えています	P.35
16	淀川加工印刷	フィルム包装資材の印刷加工	あの有名な食品パッケージがここで！?	P.37
17	尼崎市立歴史博物館	公共施設	地域の歴史を探究：アーカイブズ機能を兼ね備えた博物館	P.39

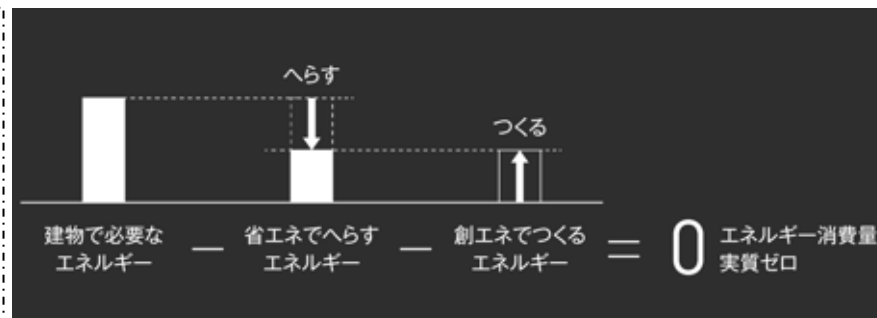
プログラム実施場所



1	AtomsWorld
2	尼漁開発 武庫川渡船
3	音羽電機工業
4	大阪ソーダ
5	革工房おおがき
6	岸本吉二商店
7	クボタ
8	神鋼鋼線工業
9	ニプロン
10	日本スピンドル製造
11	日本製鉄
12	ヒロセエンジニアリング
13	丸一興業
14	ミヤコ工芸社
15	ヤンマーパワーテクノロジー
16	淀川加工印刷
17	尼崎市立歴史博物館



AtomsWorldは、人と未来をエネルギーでつなぐ会社です。既存事業として今まで培ってきた「電気」というフィールドから更に拡張し、「エネルギー革命」というビジョンのもと、グループが一丸となり「エネルギー」の奪い合いを起因とする貧困と争いを根絶することを目指しています。



プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
尼崎初、ゼロエネルギービルディングの紹介
- 10:20 ②見学
社屋の視察
「省エネ」と「創エネ」で実現する新たな社会
- 10:30 ③ワークショップ
新たな発電のカタチを考える
「省エネ」と「創エネ」で実現する新たな社会
- 11:20 質疑応答
- 11:30 終了

- ◇実施場所 : アトムズ・ワールド・ビルディング
- ◇実施時間 : 90分 (10:00~16:30で対応可能)
- ◇実施人員 : 25名まで
- ◇実施費用 : 1,000円 (税込) /人
- ◇服装 : 指定なし

① Guidance : 知る

- ・ゼロ・エネルギー・ビルディング (=ZEB)
- ・快適な室内環境を実現しながら建物で消費するエネルギーを「実質ゼロ」にすることを目指した建物
- ・「知る」ことから始まるエネルギーの未来



② Factory Tour : 工場見学

- ・尼崎初「ZEB」社屋を視察
- ・社屋の省エネ・創エネのしくみ・工夫を見て学ぶ
- ・快適な環境づくりのためのしくみ・工夫を体感する



③ Workshop : 考える・やってみる

- ・「電気」の創り方・使い方をグループで考える
- ・新たな発想で発電のカタチをデザイン
- 👉 「発電の仕組み」から発想していく



「AtomsWorld」が実現したいことは？ 「エネルギーの奪い合い」を起因とする貧困の根絶

学習のポイント



- ① 資源・エネルギーの現状と課題を知る。
- ② 発電（創電）の新たなカタチを考える。
- ③ 持続可能な未来のエネルギーをデザインする。

事前学習

- ▶ 日常生活で自分が使っているエネルギー(トップ3)を調べる。
- ▶ 自分ができる（すでにやっている）「省エネ」を書き出す。
- ▶ 「ゼロ・エネルギー化」とはどのようなことかを調べる。

現地学習

- ▶ ゼロ・エネルギー・ビルディングのしくみと工夫を知る。
- ▶ ゼロ・エネルギー化の必要性について実例をもとに理解する。
- ▶ エネルギーの未来のカタチについて考える。

事後学習

- ▶ 現地学習で得た「新たな気づき」を学校で発表する。
- ▶ 学校でできる「省エネ」を改めて考え、成果を数値化する。
- ▶ 自分でできる「省エネ」を改めて考え、家庭で共有する。

尼漁開発 武庫川渡船

会社WEBは
こちらから



新鮮な魚をお裾分け 「フィッシュシェアリング」



武庫川渡船は、漁業から渡船業に転身した会社です。釣り人を武庫川河口域の釣り場まで運ぶ渡船業を中心に、釣り文化の普及のため様々な活動を行っています。また、釣り・海・食をつなぐことを目的に、NPO法人を立ち上げ、釣れすぎて余った魚をお預かりし、子供食堂などへお届けする『フィッシュシェアリング』の活動も行っています。様々な取り組みを通じ、釣りの楽しさだけでなく、尼崎の海の豊かさ、魚の美味しさを伝えています。

尼崎の海から

循環型社会のカタチを考える



プログラム スケジュール

- 9:30 ①魚つり体験 🍷 同料金で「クルーズのみ」に変更可能(最大24名)
船で沖堤防へ渡る (ライフジャケット着用)
※天候不良の場合の対応: 釣りができる場合A / 釣りができない場合B
A: 乗船せず「釣棧橋」から釣り体験
B: 「魚教室」を実施
- 11:00 ②ワークショップ (選択制 / 同料金)
① ② ③から20名程度で1つ選択
- 11:40 ③ワークショップ
自分でさばいた魚の試食体験
「フィッシュシェアリング」の活動紹介
- 11:55 質疑応答
- 12:00 終了 ★別料金にてBBQ (昼食) の手配可能【応相談】



- ◇実施場所 : 尼崎市立魚つり公園
- ◇実施時間 : 150分 (5:00~19:00で対応可能)
- ◇実施人員 : 80名まで ※おすすめシーズン: 7月~10月
- ◇実施費用 : 3,800円 (税込) / 人
- ◇服装 : よごれてもいい服装 (釣り・魚捌き・肥料づくり体験)

① Experience : やってみる

- ・尼崎の海でどんな魚が生息している?
- ・海の安全管理 (事故防止策) を知る
- ・尼崎の海の環境改善の取り組みと現状を知る



② Workshop (選択制①~③) : やってみる

- ・選択①魚拓 (釣った魚の魚拓をとる)
- ・選択②魚さばき (釣った魚をさばく)
- ・選択③肥料づくり (非可食部の利活用)



③ Workshop : 考える・やってみる

- ・さばいた魚の試食体験
- ・フィッシュシェアリングの活動内容とその成果を知る
- ・自分たちができる「循環型社会」のカタチを考える



「尼漁開発 武庫川渡船」が実現したいこととは? 「フィッシュシェアリング」で尼崎の海と地域をつなぐ



学習のポイント



- ① 尼崎の海の「今」と「昔」を知る。
- ② 釣って食べる「楽しさ」を体感する。
- ③ 余った魚や廃棄部分の活用について考える。

事前学習

- ▶ 尼崎の海の歴史（工業廃水汚染から環境改善まで）を調べる。
- ▶ 尼崎で釣れる魚の種類と、その時期について調べる。
- ▶ 「循環型社会」とはどのようなことかを調べる。



現地学習

- ▶ 尼崎の海の「今」を知り、釣りを楽しむ。
- ▶ 魚さばき体験で「切り身」ではわからない魚の廃棄部分を知る。
- ▶ 余った魚や廃棄部分の活用方法について学ぶ。



事後学習

- ▶ 食材の廃棄にかかるコストについて調べ、まとめる。
- ▶ 海の安全管理（事故防止策）についてまとめる。
- ▶ 「循環型社会」の実現のために、自分ができていることを考える。



音羽電機工業

「雷対策」の全てを手がける会社

会社WEBは
こちらから



キラリと光れ

自然の脅威 “雷” と共生



音羽電機工業は、「雷対策」の全てを手がける会社です。ビルにも、電柱にも、ショッピングモールにも、インフラとなる発電所にも、1秒でも電気が止まれば命が失われるリスクのある病院にも、膨大なデータが存在するデータセンターにも、日本が誇る寺社仏閣にも、OTOWAのテクノロジーが導入されています。



プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
会社概要説明（事業領域・製品紹介）
- 10:15 ②見学
「雷テクノロジーセンター」の見学
「雷ミュージアム」の見学
- 11:15 ③ワークショップ
施設見学の振り返り
「雷対策がなぜ必要か」を様々な場面設定で考える
- 11:50 質疑応答
- 12:00 終了

- ◇実施場所 : 音羽電機工業（本社）
- ◇実施時間 : 120分（9:30～16:30で対応可能）
- ◇実施人員 : 30名まで
- ◇実施費用 : 1,000円/人
- ◇服装 : スカート・短パン・ハイヒール・厚底靴不可（実験室見学あり）

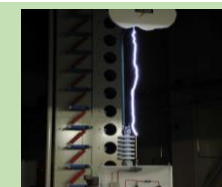
① Guidance : 知る

- ・会社の事業領域と製品（避雷器）の紹介
- ・雷が発生するしくみを知る
- ・雷から人や物を守る「免雷」の技術を学ぶ



② Experience-based Tour : 見学

- ・「雷テクノロジーセンター」の見学
 - 👉 国内唯一の雷専門試験センター／雷を人工的に発生
- ・「雷ミュージアム」の見学
 - 👉 雷対策製品・雷写真コンテスト入賞作品の展示など



③ Workshop : 考える・やってみる

- ・施設見学の振り返り（気づきの共有）
- ・雷対策がなぜ必要かを様々な場面設定で考える
 - 👉 「守りたいもの」と「守る方法」



「音羽電機工業」が実現したいこととは？ 雷と共生し、「免雷」の時代を築く



学習のポイント



- ① 雷の発生メカニズムと落雷対策を学ぶ。
 ② 人、建物、機器を守る「免雷」の技術を学ぶ。
 ③ 落雷被害対策のために自分ができることを考える。

事前学習

- ▶ 雷が発生するしくみを調べる。
- ▶ 落雷による被害にはどのようなものがあるかを調べる。
- ▶ 落雷被害の対策にはどのようなものがあるかを調べる。



現地学習

- ▶ 落雷被害の実例とその対策の必要性を知る。
- ▶ 避雷器の種類とその免雷技術を施設見学を通じて学ぶ。
- ▶ 雷対策がなぜ必要かを様々な場面設定で考える。



事後学習

- ▶ OTOWAのテクノロジーで守られているものをまとめる。
- ▶ 学校・家庭・地域で避雷器が設置されている場所を調べる。
 🍷 落雷対策が不十分な場所はないか？（避雷器の未設置）



化学でもっといいこと

独創的なものづくりのDNA



すごソ^ダ

大阪ソーダは、1915年（大正4）に創立した100年以上の歴史ある会社です。創業当時、かせいソーダは重要産業だった繊維産業には欠かせない存在で、大阪ソーダは電気分解によるかせいソーダの工業化に国内で初めて成功しました。以来、当社グループは独創的なものづくり技術を駆使し、創業事業である基礎化学品をはじめ、グローバルニッチの機能化学品、医薬品原薬・中間体など、さまざまな化学製品の提供を通して産業の発展に貢献してきました。現在、当社グループは「化学を通じて社会が求める新たな価値を提供する企業グループ」を目指し、機能化学品及びヘルスケア事業の拡大、バイオや環境をはじめとする新たな事業領域への展開を図り、高付加価値製品を中心とした強い事業構造の構築を進めています。

プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
会社概要の説明
ソーダ製品の説明
- 10:15 ②見学
製造現場の見学
- 11:00 ③ワークショップ
「ソーダ製品」に関するテーマ（お題）の提示
班ごとに情報をまとめ発表（共有）
- 11:50 質疑応答
- 12:00 終了

- ◇実施場所 : 大阪ソーダ 尼崎工場
- ◇実施時間 : 120分（9:30～16:00で対応可能）
- ◇実施人員 : 20名まで
- ◇実施費用 : 1,000円（税込）/人
- ◇服装 : 工場見学に適した服装（短パン・スカート・厚底靴不可）

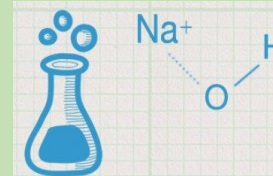
① Guidance : 知る

- ・創業の歴史と事業領域の拡大
- ・ソーダ製品の利用されている領域の説明
- ・ソーダ製品の製造工程の説明



② Factory Tour : 工場見学

- ・原材料の貯蔵所（塩倉庫）の見学
- ・飽和槽（塩水を作る工程）の見学
- ・電解槽（電気分解の工程）の見学



③ Workshop : 考える・やってみる

- ・ソーダ製品に関するテーマに沿って情報をまとめる。
👉 テーマは当日提示されます。
- ・まとめた内容をグループごとに発表、共有します。



「大阪ソーダ」が実現したいことは？ 化学を通じて社会が求める新たな価値を提供する



学習のポイント



- ①身の回りで活躍しているソーダ製品を知る。
- ②ソーダ製品の製造の歴史や役割を学ぶ。
- ③ソーダ製品の製造現場を見学し、製造工程を学ぶ。

事前学習

- ▶ 「ソーダ製品」とはどのようなものを調べる。
- ▶ 「ソーダ製品」はどのように製造するかを調べる。
- 👉 「日本ソーダ工業会」のホームページを参照

「日本ソーダ工業会」
ホームページはこちら



現地学習

- ▶ 大阪ソーダの「創業からの歴史」「新たな事業領域」を知る。
- ▶ ソーダ製品の製造工程や活用事例を知る。
- ▶ テーマ（お題）に基づいて情報をまとめ、発表する。

事後学習

- ▶ ワークショップの発表を聞いて、気づいたことをまとめる。
- ▶ ソーダ製品にはどのようなチカラ(機能)があるかをまとめる。
- 👉 そのチカラを利用し、どのような活用事例があるでしょう。

HEDGE
SINCE 1990

革工房おおがき

命と向き合い最後まで使い切る

会社WEBは
こちらから

地球最古

エコでサステイナブルな革製品

革工房おおがきは、1985年に創業者である大垣佳史・ミユキ夫妻が革製品づくりに携わったのを始まりとし、1990年に工房を尼崎市武庫之荘に構えました。「大垣」の名字にちなみHEDGE〈ヘッジ〉（垣根のようにしっかりと地盤を持ち着実なあゆみで成長する企業をめざす）という店名で自社ブランドを立ちあげ、ビジネス鞆からハンドバッグ、財布や革小物に至るまで多種多様なアイテムの製作を一貫した自社製造ラインで製造しています。



プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
革素材についての説明（命と向き合う）
- 10:50 ②見学
製作過程の見学
修理・手入れ作業の見学
- 11:00 ③ワークショップ
端材を使ったオリジナル製品づくり
（素材選び・組み立て）
- 11:50 質疑応答
- 12:00 終了

- ◇実施場所 : HEDGE武庫之荘店
 ◇実施時間 : 120分（9:30～16:00で対応可能）
 ◇実施人員 : 5名まで
 ◇実施費用 : 2,000円（税込）/人
 ◇服装 : 汚れてもいい服装（室内作業/刃物利用あり）

① Guidance : 知る

- 革素材の歴史と成り立ちの説明
- 動物の皮革が革素材になるまで（革＝最も古いSDGs素材）
- 限られた素材の有効活用
👉 "Mottainai"について考える



② Factory Tour : 工場見学

- 製作工程の説明（見学）
- 高品質な製品を製作するための工夫と努力を知る
- 使い続けるための「修理」「手入れ」を知る



③ Workshop : 考える・やってみる

- 端材の活用を考える。
- 作ってみたいものをデザインし製作してみる。
- 社員の方に苦労ややりがいについて聞いてみる。



「革工房おおがき」が実現したいこととは？ 手間ひまを惜しまず、日常的に永く使えるモノづくり



学習のポイント



- ① 革素材を通じて「命」について考える。
- ② 「良いものを長く使う」を考える。
- ③ 高品質な製品をつくる工夫と努力を知る。

事前学習

- ▶ 革がサステイナブル素材とされる理由を調べる。
👉 「リサイクル」「有効活用」をキーワードに
- ▶ 「皮」と「革」の違いについて調べる。



現地学習

- ▶ 動物の皮が革素材になるまでの過程を知る。
- ▶ 革製品の製作工程を知り高品質化への工夫と努力を知る。
- ▶ 端材を活用してオリジナルの革製品をつくる。



事後学習

- ▶ 革製品を「エコ」の観点でまとめる。
- ▶ 「良いものを長く使う」ために自分ができることを考える。
- ▶ いま使っているもので「修理して使い続けたい」ものを考える。

菰樽 岸本吉二商店

会社WEBは
こちらから



江戸時代から続く菰樽の文化を今に伝える

威勢よく鏡（上蓋）を開き乾杯する「鏡開き」は、結婚式や祝賀会といったお祝い事に欠かせません。尼崎は江戸時代から、日本屈指の酒どころに囲まれ、農家の冬場の仕事として鏡開きの菰樽に使われる菰縄づくりが行われてきました。今でも全国の酒造会社で使われる菰縄のほとんどを尼崎でつくっています。菰樽づくり技術は日本遺産「伊丹諸白と灘の生一本、下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷」の構成文化財です。

絶滅危惧種

だからこそ残せる未来もある



プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
会社概要説明
- 10:20 ②見学
製造現場見学（菰織り・印刷・荷造り）
- 11:00 ③ワークショップ
学校名を入れた飾り樽の作成（寄せ書き）
菰樽文化の発信（まとめ）
※オプション（追加料金）
鏡開き体験（クラッカー）
- 11:20 質疑応答
- 11:30 終了



- ◇実施場所 : 株式会社 岸本吉二商店
◇実施時間 : 90分（10:00~/13:30~で対応可能）
◇実施人員 : 20名まで
◇実施費用 : 3,800円（税込）/人
◇服装 : 軽装

① Guidance : 知る

- ・菰樽の歴史解説（江戸時代から現在までの歴史）
- ・菰樽ができるまで（製作工程）
- ・現在、菰樽がどのような場面で利用されているか



② Factory Tour : 工場見学

- ・「菰樽製作現場」の見学
- ・各工程（菰織り・印刷・荷造り）
- ・出荷先（どのような依頼があるのか）



③ Workshop : 考える・やってみる

- ・オリジナル飾り樽の作成
（18ℓサイズ 直径40cm:重さ2.3kg）
- ・菰樽を知らない若者・外国人向けの発信（まとめ）
- ・オプション：鏡開き体験（クラッカー）も可能



「岸本吉二商店」が実現したいこととは？ ものづくりを通じて「日本」を発信する



学習のポイント



- ① 菰樽の歴史と「いま」を知る。
- ② 永く続く企業の努力と工夫を知る。
- ③ 菰樽を知ってもらおう為にできることを考える。

事前学習

- ▶ 菰樽が現在どのような場面で使われているかを調べる。
- ▶ 下り酒（くだりざけ）をキーワードに菰樽の歴史を調べる。
- ▶ なぜ尼崎に菰樽業者が多く、今も続いているかを調べる。



現地学習

- ▶ 菰樽の歴史と「いま」を知る。
- ▶ 菰樽の製作現場を見学し、職人の技術を体感する。
- ▶ 得た知識を基に菰樽文化を広めるアイデアを考え発表する。



事後学習

- ▶ 菰樽の歴史を知り、製作現場を見学した感想をまとめる。
- ▶ 江戸時代から今まで続く企業の工夫と努力をまとめる。
- ▶ 自由な発想で菰樽の新たな製品アイデアを考え発表する。



水処理のスペシャリスト

安全な水を世界の一人ひとりに



人類の生存に欠かすことのできない食料・水・環境。クボタグループは、優れた製品・技術・サービスを通じ、豊かで安定的な食料の生産、安心な水の供給と再生、快適な生活環境の創造に貢献し、地球と人の未来を支え続けます。クボタ阪神工場では、水道用铸铁管の製造をはじめ「水の循環」を支える様々な事業で持続可能な社会の実現に貢献しています。



プログラム スケジュール

- 9:30 ①ガイダンス
会社概要と「水関連事業」の説明
- 9:50 ②見学
ダクタイトル鉄管の製造現場の見学
資料館の見学
- 11:00 ③ワークショップ
世界と日本が抱える水に関する課題
課題解決に向け自分にできることを考え発表
- 11:50 質疑応答
- 12:00 終了

- ◇実施場所 : クボタ 阪神工場
- ◇実施時間 : 150分 (9:30~16:30で対応可能)
- ◇実施人員 : 30名まで
- ◇実施費用 : 2,500円 (税込) /人
- ◇服装 : 工場見学に適した服装 (短パン・スカート・厚底靴不可)

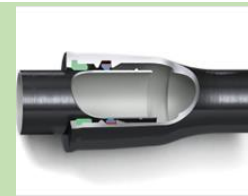
① Guidance : 知る

- ・クボタの事業領域とビジョンの説明
- ・「水関連事業 (水環境ソリューション)」の説明
- ・安全な水を届けるための技術と取り組みの説明



② Factory Tour : 工場見学

- ・「ダクタイトル鉄管」の製造現場の見学
- ・展示物の見学 (水道管の機能と仕組みの解説)
- ・「防災・減災」に貢献する水道管技術の説明



③ Workshop : 考える・やってみる

- ・水に関する課題を様々な規模や角度で考える
- ・安全な水が供給されることの重要性を考える
- ・課題解決に向け、自分にできることを考え発表する



「株式会社クボタ」が実現したいことは？ 食料・水・環境の循環で、持続可能な社会をめざす



学習のポイント



- ① 日本と世界の「水環境」の現状を知る。
- ② 企業による社会課題の解決事例を知る。
- ③ 安全な水を使い続けるために何ができるかを考える。

事前学習

- ▶ クボタの企業理念・ミッション・事業領域を調べる
- ▶ 世界と日本が抱える水に関する課題を調べる
- ▶ クボタのホームページ「水分野での取り組み」参照

会社WEBは
こちらから



現地学習

- ▶ 水の循環に関する課題とその解決策を知る。
- ▶ ダクタイル鉄管の製造現場とその技術を知る。
- ▶ 世界と日本が抱える水に関する課題とその解決策を考え発表する。

事後学習

- ▶ ワークショップで共有された課題を整理する。
- ▶ 学校内で水に関する災害対策を調べる。
- ▶ 水不足に対するクボタの取り組みを調べる。



ニプロン

グリーンパワーで直流の世界を拓く

会社WEBは
こちらから



「 護 る (ま も る) 」

私たちの日常を高品質な電源で「護る」

電源メーカーニプロンは「ITを護る」「壊れない電源」をキーワードに、機械にとって安全な（安定した＝”清い”）電流を送り続ける「電源」を開発・製造・販売しています。停電してもすぐにバッテリーが稼働し電気が止まらないしくみの”ノンストップ電源”は、災害など不測の事態が発生したときに機器を守ることができるもので、私たちは止まってはいけない機器を守ることによって社会を支えています。



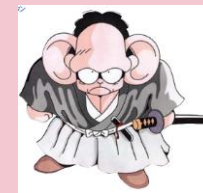
プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
会社概要説明（事業領域・製品紹介）
- 10:20 ②見学
「電源」の製造工場の見学
「常設展示場」にてノンストップ電源の見学
- 11:20 ③ワークショップ
「高品質な電源」は何を実現できるのか？
「防災・人命・生活」をテーマに発表
- 11:50 質疑応答
- 12:00 終了

- ◇実施場所 : ニプロン（本社）
- ◇実施時間 : 120分（9:30～17:00で対応可能）※12:00～13:00不可
- ◇実施人員 : 30名まで（工場見学は15名ずつ2班編成）
- ◇実施費用 : 1,000円（税込）/人
- ◇服装 : 工場見学に適した服装（短パン・ショートスカート・厚底靴不可）

① Guidance : 知る

- ・会社の事業領域と製品（電源）の紹介
- 👉 自動化が進む社会での「電源」の役割を知る
- ・高品質な「電源」とは何か？



② Factory Tour : 工場見学

- ・「電源」の製造工場の見学
- 👉 製品の品質管理・維持の取り組みを学ぶ
- ・「常設展示場（ノンストップ電源）」の見学
- 👉 電源の構造・仕組みを学ぶ



③ Workshop : 考える・やってみる

- ・「防災・人命・生活」をテーマに考えをまとめる。
- ・日常生活では気づかない「電源」の役割を再認識する。
- 👉 「高品質な電源」で何を実現できるのか？



「ニプロン」が実現したいこととは？ 世界中の人に高付加価値で安全な「電源」を届ける



学習のポイント



- ③ ② ①
- 「電源ユニット」の役割とその技術を知る。
 「品質の管理・維持」のための取り組みを知る。
 「電源」で守る生命・財産・生活について学ぶ

事前学習

- ▶ ニプロンのHPから「ミッション・経営理念」を調べる。
 🖱️ 「ニプロンパワーポリシー」もあわせて調べる。
- ▶ 「電源ユニット」とはどのようなものを調べる。

経営理念は
こちらから



現地学習

- ▶ 「電源」の役割とその技術を知る。
- ▶ 「モノづくり」の現場から品質管理・維持の取り組みを学ぶ。
- ▶ 普段は意識しない「電源」の役割を考え、共有する。

事後学習

- ▶ 「電源」の技術で守られているものをまとめる。
- ▶ 「電源」の品質の差（何が優れているのか）を調べる。
 🖱️ 何をもって高品質・低品質なのか？



創業時からさまざまな顧客ニーズに応じてきた日本スピンドルには、高度な技術とお客様からの信頼が蓄積されています。今、世界はさまざまな課題に直面しています。これからの私たちが目指すのは、そんな社会の課題に柔軟に対応して、培ってきた技術と独自のアイデアによって希望に溢れる未来を築くことです。日本スピンドルは、100年の歴史を継承し、これからも人々の暮らしの豊かさを支える企業でありたいと考えています。



プログラム スケジュール

- 9:30 ①ガイダンス
会社概要・主要製品の説明
- 9:45 ②見学
見学時の諸注意
ゼロ災害の取り組み説明
製品の特長を学ぶ
- 10:30 ③ワークショップ
製品のキャッチコピーとセールスポイントをまとめる
製品紹介（プレゼン）
- 11:20 質疑応答（11:50）※150分の場合
- 11:30 終了（12:00）※150分の場合

- ◇実施場所：日本スピンドル製造（本社）
- ◇実施時間：120分～150分
（9:30～12:00／13:30～16:30で対応可能）
- ◇実施人員：中学生又は高校生 30名まで
（20名まで：120分／20名以上：150分）
- ◇実施費用：1,000円（税込）／人
- ◇服装：パンツ推奨／短パン不可／サンダル不可／靴のヒール3cmまで

「日本スピンドル製造」が実現したいこととは？

① Guidance：知る

- ・会社概要・主要製品の説明
- ・事業分野
👉 どんどこで使われているのか
- ・製品特長
👉 どんな社会課題を解決しているのか



② Factory Tour：工場見学

- ・製造現場の安全対策を学ぶ
- ・スピニング加工機・混練機など大型機械の見学
- ・製品の特長（セールスポイント）の理解



③ Workshop：考える・やってみる

- ・見学した製品の振り返り
- ・社員と共に製品のキャッチコピーと
セールスポイントをまとめる
- ・班ごとに役割を決め製品を紹介する（プレゼン）



社会課題に柔軟に対応し、持続可能な未来を築くこと



学習のポイント



- ① 製造業を支える「産業機械」を知る。
 ② 工場で徹底されている「安全管理」を学ぶ。
 ③ 産業機械による社会課題の解決事例を学ぶ。

事前学習

- ▶ 「産業機械」とはどのようなものを調べる。
- ▶ 日本スピンドルのホームページで何のための機械かを調べる。
 🖱️ ①スピニングマシン ②混練機・押出機



現地学習

- ▶ 産業機械がどのような社会課題を解決しているかを学ぶ。
- ▶ 工場見学を通して「ゼロ災害」への工夫と取り組みを学ぶ。
- ▶ 産業機械の役割と特長を理解し、分かりやすく伝える。



事後学習

- ▶ 産業機械による社会課題の解決事例をまとめる。
- ▶ 100年続く企業が大切にしている考え方と取り組みをまとめる。
- ▶ モノづくりの現場（工場）で気づいたことをまとめる。

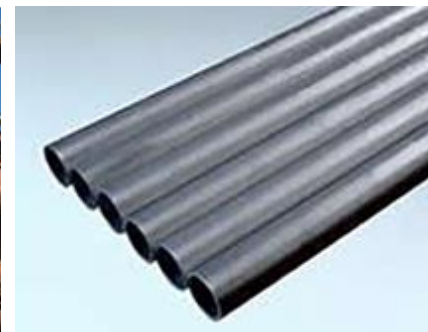


鉄は思ったより身近で地球にやさしい素材

日本製鉄は、日本で最大手、世界でもトップクラスの鉄鋼メーカーであり、日本国内および世界15カ国以上に製造拠点を展開しています。プログラム実施場所の関西営業所（尼崎地区）は、1919年（大正8）創業の住友伸銅所尼崎工場をルーツに持つ特殊鋼管の製造工場で、石油採掘のための鋼管や原子力発電所の内部で使われる鋼管を製造しており、その技術は世界でも高く評価されています。製鉄には莫大なエネルギーがかかる一方で、鉄は何度でも何にでも生まれ変わる持続可能な素材という特徴も併せ持っています。私たちは、環境負荷の軽減にも取り組みながら、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、これからも社会の発展に貢献していきます。

世界は鉄でできている

何度でも何にでも生まれ変わる



プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
製鉄業界・会社の概要説明
- 10:20 ②見学
製造工場の見学
- 11:00 ③ワークショップ
テーマ：経済発展と環境負荷軽減
キーワードをもとに情報をまとめ班別に発表
👉 キーワードと資料は当日配布
- 11:50 質疑応答
- 12:00 終了

- ◇実施場所 : 日本製鉄 関西営業所 尼崎地区
◇実施時間 : 120分（9:30~16:30で対応可能）
◇実施人員 : 40名まで
◇実施費用 : 1,000円（税込）/人
◇服装 : 工場見学に適した服装（短パン・スカート・厚底靴不可）

① Guidance : 知る

- ・製鉄業界・会社の概要説明
- ・世界的な「鉄の生産量増加」とその課題
- ・鉄のリサイクルとCO2削減の取り組み



② Factory Tour : 工場見学

- ・工場の規模を体感
- ・鉄を加工するエネルギーを体感
- ・熱間加工（ねっかんかこう）
👉 しくみ・技術の説明



③ Workshop : 考える・やってみる

- ・テーマ：「経済発展と環境負荷軽減」
- ・複数のキーワードについて資料をまとめ発表
👉 「鉄の値段」「鉄のリサイクル」
「鉄の世界的需要」など



「日本製鉄」が実現したいこととは？ 優れた製品・サービスの提供を通じて社会の発展に貢献



学習のポイント



- ① 鉄を取り巻く世界的動向とその必要性を学ぶ
 ② 鉄の加工技術とその広い活用領域を知る
 ③ 経済発展と環境負荷軽減の両立を考える

事前学習

- ▶ 世界の粗鋼生産量の国別ランキングを調べる。
 👉 多い理由は何か？を考えてみる。
- ▶ 脱炭素社会（カーボンニュートラル）の定義を調べる。



現地学習

- ▶ 鉄を取り巻く世界的動向とその必要性を知る。
- ▶ 製鉄工場の規模と技術を知り、モノづくりの現場を体感する。
- ▶ 経済発展と環境負荷軽減をテーマに情報をまとめ発表する。



事後学習

- ▶ 鉄が「持続可能な素材」と評価される理由をまとめる。
 👉 キーワード：ライフサイクルアセスメント（LCA）
- ▶ 鉄の主要特性とそれを生かした代表的な製品をまとめる。

ヒロセエンジニアリング

会社WEBは
こちらから



「最高のものづくり」で社会に貢献する企業をめざします

ヒロセエンジニアリングは、1960年（昭和45）創業の鉄製品の製造と建築設備の設計・製作・据付工事を行う会社です。

鉄製品については、主に船舶のタンクや排ガス出口管などを製造しています。これらの鉄製品を製造する過程では必ず端材が生まれ、これまではスクラップとして捨てられてきました。ところが近年、私たちはこの端材を使ってキャンプ用品を製造・販売する「HIBANAS」ブランドを立ち上げ、ゴミだと思われていたものから魅力ある製品を生み出しています。HIBANASの商品を使ったお仕事体験は人気のあるワークショップとして定評を得ています。

プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
鉄工所の業界説明・企業活動の概要説明
- 10:15 ②見学
鉄工所の見学
鉄を「切る」「繋ぐ」「曲げる」加工体験
- 10:35 ③ワークショップ
端材活用について考え実践する
端材で製品作成と活用アイデア出し
- 11:15 質疑応答
- 11:30 終了

- ◇実施場所 : ヒロセエンジニアリング株式会社
◇実施時間 : 90分（10:00~16:30で対応可能）
◇実施人員 : 6名まで
◇実施費用 : 2,500円（税込）/人
◇服装 : よごれてもいい服装（工場作業あり）

「ヒロセエンジニアリング」が実現したいことは？ お客様のニーズに合わせた「考えるものづくり」

お客様第一主義

尼崎からおしゃれな鉄を



HIBANAS

① Guidance：知る

- ・鉄工所では何を作っているの？
- ・鉄工所=なくなる産業
👉 業界課題：担い手不足
- ・端材活用事業=「HIBANAS」の誕生秘話



② Factory Tour：工場見学

- ・鉄を「切る」・「繋ぐ」・「曲げる」の実演視察
- ・工程の一元化のため「プラズマ加工機」の導入
- ・「低コスト・短納期」を実現



③ Workshop：考える・やってみる

- ・端材を使った製品作成
👉 箸置き・文鎮（ペーパーウェイト）など
- ・鉄板パズルゲーム
👉 一番ムダのない型をとるのは誰だ？
- ・端材を活用した製品アイデア募集（商品化目標）





学習のポイント



- ① 鉄加工業（鉄工所）の現状と課題を知る。
 ② 低コスト・短納期のために何が必要かを知る。
 ③ 素材を無駄なく活用するアイデアを考える。

事前学習

- ▶ 身の周りにある「鉄製品」を調べる。
- ▶ 鉄の特徴（メリット・デメリット）を調べる。
- ▶ 鉄で作ってみたいものを考える。



現地学習

- ▶ 鉄工所の仕事内容を知る。
- ▶ 「低コスト・短納期」への挑戦を知る。
- ▶ 端材活用事業＝「HIBANAS」の取組を知る。



事後学習

- ▶ 鉄加工業（鉄工所）の仕事の大変さと楽しさについてまとめる。
- ▶ 現地学習で教わった鉄の特徴を改めてまとめる。
- ▶ 「お客様から選ばれるため」に何を工夫していたかをまとめる。



丸一興業

迫力あるよ！木箱の梱包と物流の世界

会社WEBは
こちらから



常識を超えた

硬質ダンボールディスプレイの世界



丸一興業は、お客様の製品を安全に目的地へ届けるための「梱包」を担う会社で、主に重量物を対象とした木箱や強化ダンボール箱の設計・製造・梱包・物流・保管業務を行っています。また、業務の中で培った設計技術と加工技術を合わせ、これまでにない紙製の「硬質ダンボールディスプレイ」も作っています。なかでも牛乳パック等の古紙100%で作られる「硬質ミルダン」は、これまで木や鉄でしか作れなかったものを紙で作ることができる画期的なリサイクルダンボールで、再生紙のもつ可能性を感じられる素材です。常識を超えた硬質ダンボールディスプレイの世界をぜひ見に来て下さい。



プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
会社概要説明
- 10:15 ②見学
ダンボールディスプレイ製造工場の見学
- 10:55 ③ワークショップ
硬質ダンボールの未来予想図（社員による説明）
硬質ダンボール製品のアイデアコンテスト
デザイン・製造（印刷・カット）体験
- 11:45 質疑応答
- 12:00 終了

- ◇実施場所 : 丸一興業株式会社
◇実施時間 : 120分（8:00~16:30で対応可能）
◇実施人員 : 10名まで
◇実施費用 : 2,000円（税込）/人
◇服装 : 軽装

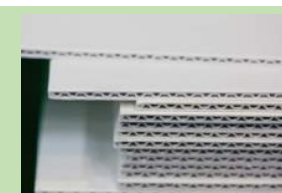
① Guidance : 知る

- ・「梱包・物流」業界の説明
- ・運搬用の木箱・強化ダンボールの説明
- 👉 設計技術・加工技術
- ・リサイクルダンボール「硬質ミルダン」の説明



② Factory Tour : 工場見学

- ・「ダンボールディスプレイ工場」の見学
- ・紙製ディスプレイで何が作れるか？（クイズ形式）
- ・「ディスプレイ設計」「カタログデザイン」の解説



③ Workshop : 考える・やってみる

- ・自由な発想で「ダンボール製品」をデザイン
- ・学校（教室）で役立つ製品のアイデアコンテスト
- ・イラストレーターでの絵柄構成と製造
- 👉 「印刷」「カット」体験



「丸一興業」が実現したいこととは？ お客様の「かゆいところ」に手が届く仕事



学習のポイント



- ① 梱包・物流業界の現状と課題を知る。
 ② ダンボール素材の活用について知る。
 ③ ダンボール素材の新たな形をデザインする。

事前学習

- ▶ 身の周りにある「ダンボール素材のもの」を調べる。
- ▶ ダンボール素材の特徴（メリット・デメリット）を調べる。
- ▶ ダンボール素材で作ってみたいものを考える。



現地学習

- ▶ 梱包・物流業の仕事内容を知る。
- ▶ 硬質ダンボールディスプレイの特徴と実用例を知る。
- ▶ 硬質ダンボールの新たな製品アイデアを考える。



事後学習

- ▶ 梱包・物流業の仕事の大変さと楽しさについてまとめる。
- ▶ お客様の「かゆいところに手が届く」仕事の実例をまとめる。
- ▶ 硬質ダンボールで解決できる社会課題について考えまとめる。



ミヤコ工芸社

会社WEBは
こちらから



「つくる喜び」「つかう楽しさ」持続可能な未来を実現

アクリル素材で

お客様の要望をカタチに



ミヤコ工芸社は、全国の百貨店・ドラッグストア・店舗等へ設置するアクリルディスプレイのデザイン・提案・製作・納品をしている会社です。ディスプレイによって見せる商品の印象は大きく変わるので、デザインの打ち合わせから提携工場への発注までを一貫しておこなうことによって、クライアントのニーズを的確に形にし販売促進に貢献しています。



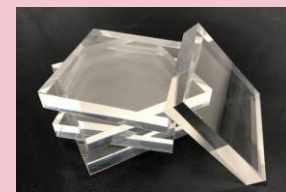
プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
アクリル・ディスプレイ業界の概要
リサイクルの取り組み紹介
- 10:15 ②体験
アクリル素材で自分好みの製品作り
- 11:50 ③ワークショップ
教室（学校）で使えるアクリル製品を考える
👉 アイデアを1つにまとめる（後日プレゼント）
- 11:20 質疑応答
- 11:30 終了

- ◇実施場所 : 株式会社ミヤコ工芸社
- ◇実施時間 : 90分（9:00～17:30で対応可能）
- ◇実施人員 : 10名まで
- ◇実施費用 : 2,000円/人
- ◇服装 : よごれてもいい服装（アクリル板加工体験）

① Guidance：知る

- ・アクリルディスプレイ業界の概要説明
- ・アクリル素材の特徴を知る
- ・アクリル素材のリサイクルの現状と課題を知る



② Experience：体験

- ・アクリル素材の加工体験
- 👉 カット・接着加工
- ・自分好みの形に加工
- 👉 キーホルダーにして当日持ち帰り



③ Workshop：考える・共有する

- ・教室で使えるアクリル製品を考える
- ・アイデアを1つにまとめる
- 👉 後日プレゼント（社員による製作）



「ミヤコ工芸社」が実現したいこととは？

「アクリル製品の品質化」と「環境負荷の軽減」の両立



学習のポイント



- ① アクリル業界の現状と課題を知る。
- ② アクリルのリサイクルの現状と課題を知る。
- ③ 製品のアイデアをカタチにする。

事前学習

- ▶ 身の周りにある「アクリル素材のもの」を調べる。
- ▶ 「飲食店のアクリル板はコロナ後どうなったか？」を調べる。
- ▶ アクリル素材で「作ってみたいもの」を考える。



現地学習

- ▶ アクリル・ディスプレイ業界の現状と課題を知る。
- ▶ アクリル素材の特徴とリサイクルの現状（課題）を知る。
- ▶ 自由な発想でアクリル素材の新たな製品を考える。



事後学習

- ▶ アクリル素材のリサイクルの現状と課題をまとめる。
- ▶ 「環境負荷の軽減」に向けた業界の取り組みをまとめる。
- ▶ リサイクルの促進に向けて、必要な意識改革は何かを考える。



ヤンマーパワーテクノロジー

会社EBは
こちらから



未来のエンジンのカタチ

A SUSTAINABLE FUTURE

—— テクノロジーで、新しい豊かさへ。 ——

「環境にやさしい動力で海上輸送を支えています」

小さなものから大きなものまで動かすディーゼルエンジンの製造を中心として100年以上様々な分野で貢献してきました。今、地球は様々な課題に直面しています。その中でCo2排出による地球温暖化は、各国が真剣に取り組む必要のある喫緊の「最重要課題」です。ヤンマーパワーテクノロジー株式会社は、これまでのディーゼルエンジンで培ってきた技術を「地球温暖化防止」に向けて革新し「新しい豊かさ」へ邁進してまいります。



プログラム スケジュール

- 9:30 ①ガイダンス
会社概要の説明
- 9:45 ②見学
ディーゼルエンジンの製造現場の見学
史料館の見学
- 10:45 ③ワークショップ
「海上物流」や「エンジン」の未来のカタチ
考えをグループごとにまとめ、発表する
- 11:20 質疑応答
- 11:30 終了

- ◇実施場所 : ヤンマーパワーテクノロジー株式会社 特機事業部 (尼崎工場)
- ◇実施時間 : 120分 (9:30~11:30/13:30~15:30の2パターン)
- ◇実施人員 : 20名まで
- ◇実施費用 : 2,000円 (税込) /人
- ◇服装 : 工場見学に適した服装 (短パン・スカート・厚底靴不可)

① Guidance : 知る

- ・会社概要 (事業領域) について
- ・日本の産業と日々の生活を支える「海上物流」について
- ・動力源 (エンジン) の重要性について



② Factory Tour : 工場見学

- ・ディーゼルエンジンの製造現場を見学する
- ・史料館にて「エンジンの歴史」「製造工程」の解説
- ・エンジンの環境負荷軽減技術の取り組みの説明



③ Workshop : 考える・やってみる

- ・将来も海上輸送は船舶が必要である。
CO2低減のためにエンジンはさらにどう変わるべき？





学習のポイント



- ① 日本にとって「海上物流」がいかに重要かを学ぶ。
- ② エンジン開発の歴史と環境負荷軽減の技術を知る。
- ③ 海上物流やエンジンの未来のカタチを考える。

事前学習

- ▶ 船舶は何で動いているか？
- ▶ 地球温暖化の原因は何か？



現地学習

- ▶ 船舶用ディーゼルエンジンの製造工程を知る。
- ▶ 従来のディーゼルエンジン最新のディーゼルの違いを知る。
- ▶ 地球温暖化を防ぐ為にエンジンはどのように変わっていくか考える



事後学習

- ▶ 現地学習で学んだ海外物流やエンジンの役割をまとめる。
- ▶ 環境負荷を軽減する技術にはどのようなものがあったかをまとめる。
- ▶ 地球温暖化防止の実現に向け自分ができることを考える。



あの有名な食品パッケージがここで！？



淀川加工印刷は、幅広いジャンルの商品パッケージのデザイン・製造・販売を行っています。私たちが手掛けるパッケージは、主に大手製パン会社の有名な食パンや菓子パン、カット野菜・麺・豆腐・和洋菓子・スーパーの総菜等であり、スーパーやコンビニの店頭で日常的に目に触れるものばかりです。私たちはパッケージという分野で生活に欠かせない食品の流通に寄与しています。

パッケージのチカラ

誰もが知っている商品の舞台裏



プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
会社概要・業界概要の説明
- 10:20 ②ワークショップ①
パッケージデザインの役割と食品表示について学ぶ
👉クイズ&ゲーム
- 10:50 ③ワークショップ②
検品体験（規格外品の除去）
👉印刷された袋の検品体験
- 11:20 質疑応答
- 11:30 終了

- ◇実施場所 : 淀川加工印刷株式会社（本社）
- ◇実施時間 : 90分（9:30~16:30で対応可能）
- ◇実施人員 : 10名まで
- ◇実施費用 : 2,000円（税込）/人
- ◇服装 : 指定なし

① Guidance : 知る

- ・パッケージ業界の概要説明（魅力と役割）
- ・フィルム素材の「課題」と「その対策」を知る
- ・製造工程の説明（動画視聴）



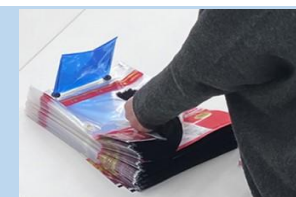
② Workshop① : 考える・やってみる

- ・パッケージデザインの役割と食品表示を学ぶ
- ・クイズ&ゲームに参加
- ・手に取ってもらえるパッケージとは？



③ Workshop② : 考える・やってみる

- ・品質向上の取り組み（検品体験）
- ・印刷済の商品パッケージから規格外品を探す
👉わずかなズレやにじみも見逃さない！



「淀川加工印刷」が実現したいこととは？ お客様目線で広く飲ばれるサービスの提供



学習のポイント



- ① パッケージの魅力と役割を知る。
- ② フィルムパッケージの課題とその対策を学ぶ。
- ③ モノづくりの楽しさを体感する。

事前学習

- ▶ 身の周りにある食品の「フィルム素材パッケージ」を調べる。
👉 用途による特徴「厚さ」「硬さ」「色」など
- ▶ 食品のパッケージを手に取り何が記載されているかを調べる



現地学習

- ▶ 「食品包装用フィルム印刷加工」の仕事内容を知る。
- ▶ 食品表示とデザインの役割を学ぶ。
- ▶ 品質向上のための努力（検品）を体験する。



事後学習

- ▶ 「フィルム素材パッケージ」の魅力と役割をまとめる。
- ▶ 「フィルム素材」の環境面での課題と対策をまとめる。
- ▶ フィルム素材のリサイクルに向け、実践する。



地域の歴史を探究：アーカイブズ機能を兼ね備えた博物館



尼崎市立歴史博物館は、江戸時代の尼崎城本丸の跡地に建てられた登録有形文化財である尼崎高等女学校の戦前の校舎を活用し、令和2年秋に開館しました。その3階に、尼崎市の公文書館機能を担う地域研究史料室“あまがさきアーカイブズ”があります。歴史的公文書をはじめ、尼崎地域のさまざまな資料を収集・保存し、市民の皆さんの閲覧に供しています。



プログラム スケジュール

- 10:00 ①ガイダンス
アーカイブズの役割とアーキビストの仕事
- 10:15 ②見学
アーカイブズの見学
アナログ資料の整理・デジタル資料の活用
- 11:00 ③ワークショップ
「地域探究」の実践
資料から情報を読み取る
- 11:45 質疑応答
- 12:00 終了

- ◇実施場所 : 尼崎市立歴史博物館
- ◇実施時間 : 120分 (9:30~16:30で対応可能)
- ◇実施人員 : 60名まで
- ◇実施費用 : 1,000円 (税込) /人
- ◇服装 : 指定なし

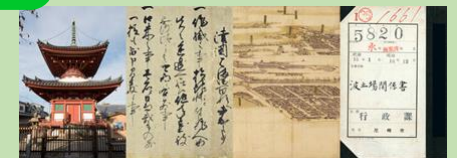
① Guidance : 知る

- ・アーカイブズの役割
- ・「記録を残し、伝えること」の価値
- ・アーキビストの仕事



② Archives Tour : 見学

- ・アーカイブズのバックヤードツアー
- ・アナログ資料の整理
- ・デジタル資料の活用と保存



③ Workshop : 考える・やってみる

- ・尼崎市を例として「地域探究」を実践
- ・地図や写真から地域の変遷を見る
- ・知りたい情報に到達するための「調べる」の実践



「尼崎市立歴史博物館」が実現したいこととは？ 地域の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深める



学習のポイント



- ① アーカイブズとアーキビストの役割を知る。
 ② 歴史的資料に触れ、その整理と活用を学ぶ。
 ③ 知りたい情報を「調べる」を実践する。

事前学習

- ▶ 住んでいる地域の歴史がわかる施設を調べる。
 👉 そこには、どのような資料があるでしょうか？
- ▶ あまがさきアーカイブズの「デジタル資料」を検索してみる。
 👉 「大尼崎市街図（昭和11年）」を検索し、眺めてみよう。



現地学習

- ▶ アーカイブズの役割とアーキビストの仕事内容を知る。
- ▶ 歴史的資料の整理・活用を体験する。
- ▶ 尼崎市を例として「地域探究」を実践する。



事後学習

- ▶ アーカイブズの役割と活用方法についてまとめる。
- ▶ 住んでいる地域の「知りたいこと」を決める。(=テーマ設定)
- ▶ 住んでいる町で「地域探究」を実践してみる。

あまがさき探究プログラムサポート体制&お問い合わせ先

あまがさき探究プログラム サポート体制

当日の研修を円滑に進行できるように万全なサポートをいたします。

(1～4はプログラム費用に含む／5・6は別途料金)

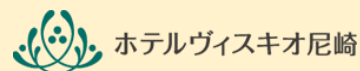
1. 各企業への予約・調整
2. 貸切バスの運行スケジュール・駐車場の有無案内
3. 当日のスケジュール調整 (延着の連絡など)
4. 当日の人数変更の調整 (各企業への連絡)
5. 当日の幹旋業務 (バス及び生徒様の誘導／別途料金)
6. 宿泊施設・昼食会場の紹介 (別途料金)

あまがさき探究プログラム お問い合わせ先

一般社団法人 あまがさき観光局
あま探 (あまたん) 事務局

TEL : 078-380-8253

MAIL : ama_tan@bsec.jp



ホテルヴィスキオ尼崎



ホテル (外観)

ホテルヴィスキオ尼崎

JR尼崎駅から徒歩1分

<昼食プラン>

宴会場：20名～200名／レストラン40名まで

昼食代金：カレーセット 1,300円 (税込) ～

※宴会場利用の場合：別途一人500円 (税込)



カレーセット



特製3種盛り合せ



MIYAKO HOTEL
AMAGASAKI



ホテル (外観)

都ホテル尼崎

阪神尼崎駅から徒歩6分

<昼食プラン>

宴会場：300名以上収容可能

昼食代金：各種ご用意 3,630円 (税込) ～

※宴会場利用料金含む



宴会場 (例)